

【様式- 】個別施設計画(ため池)

						調査年月日		2021年 1月 20日		
						計画期間		2022年～2025年		
施設概要	施設名称		造成時期		受益面積	改修歴		施設管理者		
	馬場堤溜池 (防災重点ため池)		着工	完成	ha			馬場堤ため池組合 (日之城区長)		
				1940	3					
	構造等 規格・規模		ため池 諸元	総貯水量:12,000m ³ 直接集水面積:0.1046km ² 満水面積:0.0021km ²			堤体 諸元	形式:均一型 堤頂幅(B):3.0m 堤高(H):4.0m 堤頂長(L):50.0m 斜面勾配:2.0(上)／2.1(下)		
	附 帯 施 設									
	洪水吐 諸元	形式:側水路型		斜樋 諸元	形式:斜樋 管径:HP φ 300mm		底樋 諸元	管径:HP φ 300mm		
	【施設の現況】(現地調査) 本ため池は、昭和15年(1940)に完成し現在まで改修は行っておらず、完成後から80年が経過している。 本調査の結果、堤体の下流法面・地山境界部・構造物境界部に樹木が生えている。なお、放流施設は概ね健全であった。しかし、洪水吐は欠損・損傷等が見受けられ、斜樋に関しては堤体との間に隙間があり、堤体土の流亡が認められる。また、斜樋本体に剥離・剥落及び鉄筋露出を確認した。なお、ため池栓にチェーンが付いていなかったため、緊急放流時の開閉作業に支障が出る。 【管理の状況】 管理状況については、定期的には堤体の草刈りや巡回は行われていない。									
保全対策の方針	基本方針		平成25年度の一斉点検及び令和2年度の安定計算の結果、地震時の常時満水位(貯水池側・背後池側)の安全率が1.2以下であり耐震基準を満たしていない。本調査結果からも、付帯施設に欠損・損傷等の変状が見受けられ、堤体に樹木も生えている。本ため池は「防災重点ため池」に該当することから、早急に対策を講じる必要がある。							
	管理水準		堤体	堤体は構造的(安全率1.2以下)に不安定であり、完成後80年となり耐用年数(80年)を迎えており、堤体に樹木も生えている為、総合的な対策の検討が必要である。						
			附帯施設	附帯施設についても変状がみられるため、堤体の対策を講じる際に附帯施設についても同じく対策を講じる。						
機能保全対策	対策工法・時期		【対策工法】 堤体の耐震基準を満たしていない事や堤体に樹木が生えており、堤体の耐用年数も経過することから詳細な調査及び工法の検討が必要である。また、ため池の附帯施設は堤体に隣接しており、欠損・損傷も見受けられることから、改修の際に併せて附帯施設も改修する必要があるため、対策工法としては全更新(堤体+附帯施設)とする。 【時期】 対策時期については、市内にあるその他ため池の調査結果から対策の優先順位を検討した上で適切な時期に対策を講じる。							
	対策費用		【更新対策】 200,000千円(堤体一式)							
	備考		改修工事をR4～R7年度にて実施予定							

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用(長寿命化)(百万円)										
対策費用(更新)(百万円)		50	50	50	50					
対策の内容・時期	経過観察 日常点検	更新	更新	更新	更新	経過観察 日常点検	経過観察 日常点検	経過観察 日常点検	経過観察 日常点検	経過観察 日常点検